

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 400 (通算 731 回)

2019 年 10 月 28 日 (月)

国連SDGs活動への参画——

持続可能な社会づくりへの大学の責務

～ 17 目標 169 ターゲット実現への教育・研究とは／内外での挑戦事例～

- ※ 2015 年 9 月国連「世界を変革：2030 アジェンダ」／17 目標と 169 ターゲット／大学・東大の責務
- ※ [千葉商科大]「SDGs 行動憲章」の 5 つの柱／自然エネ 100%の達成／教職員・学生の総参画
- ※ [神奈川大] 将来構想と SDGs・ESG／4 つの SDG で世界高評価／自治体等連携／可視化と内外広報
- ※ [岡山大] SDGs を経営戦略に／学内体制のレイヤーデザイン／地域・世界とのパートナーシップ

● 講師陣 ●

- 大竹 暁 氏 / (国) 東京大学 未来ビジョン研究センター 特任教授 総長特任補佐
東京カレッジ 副カレッジ長
- 原科 幸彦 氏 / 千葉商科大学 学長
- 田島 睦浩 氏 / (学) 神奈川大学 経営政策部長
- 伊野 英男 氏 / (国) 岡山大学 副理事 (教育担当)

2019 年 10 月 28 日 (月) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

地域科学研究会
高等教育情報センター

日 時：2019 年 10 月 28 日 (月) 10:00 ～ 16:50

会 場：剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

千代田区紀尾井町 3-27

アクセス：東京メトロ有楽町線 「麹町駅」1 番出口より徒歩
4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口
より徒歩 10 分

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となり
ますので、必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名 (資料代込) 41,000 円 (税込)

B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付)
42,000 円 (送料、税込)

C. 高等教育同人 (☆) 21,000 円 (税込)

※ メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、
開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。

※ なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、
特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。

※ 参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪い
ときには代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、
FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880

三菱 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658

郵便振替 00110-8-81660

口座名 < (株) 地域科学研究会 >

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
代えさせていただきます。

申 込 先：地域科学研究会・高等教育情報センター

東京都千代田区平河町 2-3-10 ライオンズ平河町-101

Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0093

E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp

HP : <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 400

持続可能な社会づくりへの大学の責務

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____

FAX _____

(□に✓印を)

当日参加

メディア参加

支払方法 郵便振替 当日払い

銀行振込

必要書類 請求書 見積書

領収書

(請求書等記載の宛名 _____)

連絡部課・担当者名 _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講 義 項 目
10:00 〃 11:30	<p>□ 「国際連合 持続可能な開発目標 (SDGs)」と大学の責務 (国) 東京大学 大竹 暁</p> <p>1. SDGs の展開 (1) 地球の限界、開発、科学の新しい役割から SDGs へ (2) SDGs の包摂性 (Inclusiveness) -地域的に、さまざまな集団で、年代を越えて (3) SDGs 実現のために期待される科学技術イノベーション</p> <p>2. SDGs において大学に期待される役割 (1) 教育：SDGs などの地球規模課題に敏感な若者への応答 (2) 研究：知識の宝庫としての解決策への貢献 (3) 社会での大学の役割の増大 (4) 東京大学での実例</p> <p>3. SDGs と転換期にある科学 (1) SDGs が求める社会の変革 (2) 科学に対する社会からの期待 (3) 社会の中での科学の変革 (4) SDGs を越えて (質疑応答)</p>
11:40 〃 13:00	<p>□ [千葉商科大] SDGs 時代の大学のあり方と実践 ～ 「自然エネルギー100%大学」 / 学長プロジェクトでの推進 ～ 千葉商科大学 原科 幸彦</p> <p>1. 建学の理念と SDGs (1) 商業道德の涵養と武士道精神 (2) SDGs の核心は仁の心</p> <p>2. 学長プロジェクトによる展開 (1) SDGs 行動憲章と学長プロジェクト (2) 伝統を踏まえた2つのプロジェクト (3) 地域への貢献プロジェクト (4) 社会への貢献プロジェクト</p> <p>3. SDGs 達成へー実践の具体例ー (1) 真っ当な商い：Ethical Commerce と ESG 投資 (2) 自然エネルギー100%大学 - まず、隗より - (3) 大学の力で持続可能な社会へ (質疑応答)</p>
14:00 〃 15:20	<p>□ [神奈川大] SDGs の達成に向けた神奈川大学の取り組み ～ 創立者の思いから自治体との連携まで ～ (学) 神奈川大学 田島 睦浩</p> <p>1. 神奈川大学と SDGs (1) 神奈川大学の概要 (2) 建学の精神と SDGs (3) 神奈川大学将来構想と SDGs・ESG (4) みなとみらいキャンパス構想と SDGs</p> <p>2. SDGs 達成に向けた取り組みの現状と評価 (1) 外部からの評価：THE Impact Rankings (2) 具体的な取り組み事例について (3) 神奈川大学の研究・教育と SDGs (4) 自治体等との連携について</p> <p>3. 取り組みの可視化と今後について (1) 取り組みの可視化と広報 (2) 学内における参画意識の醸成 (3) 今後の取り組みについて (質疑応答)</p>
15:30 〃 16:50	<p>□ [岡山大] SDGs 達成の全学的推進に向けた取組みと課題 ～ 学内推進体制のレイヤーデザイン / 地域・世界とのパートナーシップ構築 ～ (国) 岡山大学 伊野 英男</p> <p>1. SDGs を大学の経営戦略につなげるために (1) どのようにして大学ビジョンと接続するか？ (2) 学内における SDGs 推進体制の整備 (3) SDGs の学内普及・啓発活動 (4) 大学ガバナンスに SDGs を取り入れる</p> <p>2. SDGs でつながる、本学と地域との深いパートナーシップ (1) 学外組織との SDGs プラットフォーム形成 (2) 実践的な教育プログラムを通じた SDGs の深い学び (3) 岡山大学 SDGs アンバサダー制度の創設 (4) SDGs で医療の持続可能性を高める病院間連携ネットワーク</p> <p>3. SDGs で広がる、本学のグローバル・エンゲージメント (1) オープンイノベーションで加速する産学共創の拠点形成 (2) 国際的教育プログラムとの接続によるグローバル人材育成の推進 (3) 海外大学との協働による瀬戸内地域のウェルビーイング研究 (4) 世界に向けて発信する大学の長期ビジョン for 2030 (質疑応答)</p>